

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.133

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

新年のご挨拶



公益社団法人 北海道臨床工学技士会
会長 大宮 裕樹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月の総会を終え第4期役員、委員会の皆様と事業を執行してきました。当会で一番大きな事業であります、第27回北海道臨床工学会も盛会に終えることができ、会員の皆様、関係者の皆様にはこの場を借りて、改めて御礼申し上げます。

昨年は北海道経済産業局より北海道の医工連携として医療産業へ参入を考える企業への広報推進がはじまりました。我々臨床工学技士が参入企業と連携をすることにより、地域企業の活性と臨床工学技士の認知向上が期待されます。現在、北海道医療機器関連産業ネットワークが構築され準備がはじまったところであり今後の活動が期待されることとなりました。当会としましてもそのネットワークと連携をしまして北海道の医工連携の立ち上げに一役買えたらと思っております。

近年専門認定が各学会で立ち上がることにより、臨床工学技士の高い専門性が求められるようになりました。日本臨床工学技士会においても今年新たに手術室関連業務の認定もはじまります。認定士を取得するためには北海道という地は非常に時間も費用もかかることから、取得も維持も大変なところもあります。取得単位に関しましては当会の事業に単位付与をしていただき少しでも皆様のお役に立てるよう考えております。

今後は北海道内でも地域差が無くなるような事業展開も考えておりますので会員の皆様におきましては、今後とも当会活動に対しましてご理解とご協力頂ければと思っております。

年の初めに、会員各位のご理解とご協力をお願いするとともに、ご健勝とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.133

新年のご挨拶	1
北海道医療新聞で技士会の活動が掲載されました	2
RM ニュース	2-3
理事会からの報告	4
北海道臨床工学技士会 会長賞 発表	4
2月からの予定表	4
医療事故情報収集等事業医療安全情報	5

北海道医療新聞で技士会の活動 が掲載されました

北海道臨床工学技士会の公益事業推進委員会の活動が北海道医療新聞に掲載されました。

記事には、北海道臨床工学技士会が、公益社団法人化を契機に2011年1月スタートしたAED日常点検講習会の実施回数が6年間で60回となったことが紹介されています。

～以下、記事より抜粋～

講習会は公益事業推進委員会の委員と会員サポーターがボランティアで実施。1時間程度の講習会ではAEDの日常点検やメンテナンス方法、トレーナー装置を活用した正常・異常の見分け方等を説明。臨床工学技士の役割をアピールし、知名度向上も図っている。

口コミで評判が広がり、これまでに札幌、千歳、恵庭、北広島、函館、旭川、苫小牧、清水、釧路、網走の各市町で開催。道庁や小学校をはじめ、専門学校、医療機関、介護保険施設、ホテル、建設会社、タクシー会社といったさまざまな事務所からも依頼を受けた。研修終了後、各事業所から「日常点検の頻度が増した」「インジケータの確認、ラベルの設置、交換期限の確認をチェックするようになった」と、効果を上げている。

また、「AEDを用いたBLSも一緒に教えてほしい」という声も。「パッドを胸に貼る際、服を切っても良いか」「胸毛が濃い場合でも大丈夫か」「女性に配慮すべき点は」といった質問に対しては人命救助を最優先に、はさみやシェーバーを事前に用意することや女性への処置時はタオルで隠すようにアドバイスしている。

口頭だけではなく、実際にAED使用をレクチャーするため、メンバーらは日本ACLS協会の医療関係者向けトレーニングコースを受講。知識と技術を身に付けた上で、対応していく準備を進めており、一部の講習会では修了者による直接指導も始めた。



担当理事の橋本佳苗副会長は「日常点検にとどまらず、実際の使用方法も指導できる体制を整え、AEDを効果的に活用してもらいたい」と張り切っている。

◆RM ニュース◆

<シリンジポンプ誤設定投与に警鐘>

日本医療機能評価機構は10月17日、医療安全情報119号を公開し、シリンジポンプの薬剤量や溶液量の設定間違いについて注意喚起を行った。設定間違いにより、誤った流量で薬剤を投与した事例が、2013年1月1日-16年8月31日の間に3件報告されているという。シリンジポンプは薬剤量や溶液量などを入力すると、流量が自動で換算されるが、入力を間違えると設定上誤った濃度となり、意図しない流量で薬剤が投与されてしまう。薬剤量をひと桁少なく誤入力した事例では、予定されていた濃度の10分の1の濃度に設定され、予定の10倍に換算された流量で投与開始。この事例では投与開始3分後に、誤りに気づいて投与を中止したという。

また、別の事例では、溶液量に予定より5倍の値を誤入力し、実際の5分の1の濃度に設定され、予定の5倍の流量で投与されてしまった。この事例では、シリンジポンプに表示された流量を、投与前に確認しなかったことが原因だという。

同機構の総合評価部会は、シリンジポンプの設定間違いを防ぐため、投与開始直前に設定した薬剤量や溶液量を確認するよう呼びかけている。

2016年10月24日(月) 配信
日本医療安全調査機構

<看護師が離床センサー 作動させず、患者重症>

兵庫県は25日、県内の病院で9月、入院中の90代女性のベッドに取り付けた離床センサーを、女性看護師が作動させなかったため、女性が転倒して左脚を骨折する重傷を負った、と発表した。

県によると、離床センサーはベッドから起き上がるなどすれば、看護師にアラームで知らせる仕組み。

9月28日午後2時半ごろ、白内障手術のため入院中の女性が、ナースコールで看護師を呼んでトイレに行った際、看護師がセンサーを切った。看護師は、女性とベッドに戻ってからセンサーの設定を変えたが、作動状況を確認せず、約1時間半後、女性が一人でトイレに行こうとして転倒したという。

2016年11月28日(月) 配信神戸新聞

<脳死の心臓移植に選定ミス 優先患者2人受けられず 臓器ネット、計算に誤り>

日本臓器移植ネットワークは27日、昨年10月から今年1月にかけて実施した脳死での心臓移植で、本来移植を受けるはずだった優

の高い患者ではなく、別の患者を選ぶミスが3件あったと発表した。長期間移植を待っていた患者2人が手術を受けられず、うち1人は2回の機会を逃していた。

心臓移植で選定の誤りは初めて。移植ネットは患者の検索システムによる待機日数の計算違いが原因としているが、患者の生命に関わりかねないミス。記者会見した理事長は「社会の信頼を損なう事態となり、深くおわびしたい」と謝罪した。

厚生労働省は、移植ネットにシステムの利用中止を指示、当面は患者の選定を複数の職員が手作業で実施するよう求めた。移植ネットは「選定に大きな影響がないように努める」としている。

移植ネットによると、この患者2人は現在も心臓移植を待っており、待機日数は千日を超える。

移植ネットは2014～15年にも腎臓の脳死移植で選定ミスが相次ぎ、昨年10月に新しい検索システムを導入。患者の年齢や血液型、待機日数などを登録し、脳死者が出たときに優先度を判断して選ぶ仕組みだった。

ところが患者の容体などの情報を修正すると、待機日数が実際より長く計算されてしまうプログラムの誤りがあった。このため本来受ける患者より、待機日数の短い患者が先に移植を受けた。

今月26日の脳死移植で心臓移植を予定された大阪大病院が、優先順位が高い患者が選ばれていないことに気付き発覚。昨年10月以降に実施された脳死移植20件について調べ、3件の誤りが判明した。肝臓や肺などの別の臓器は異なるプログラムのためミスは見つかっていないという。

移植ネットは腎臓での選定ミスの際に、再発防止のために組織体制を見直し、幹部が交代していた。

2017年1月30日(月) 配信共同通信社

理事会からの報告

2月からの予定表

2月10日(金)の理事会で以下の報告、協議がなされました。

□報告事項

- 新入会・退会者の報告
現在の会員総数 1113 名
- 各委員会平成 29 年度事業計画
- 青森日臨工大会について

□協議事項

- 倫理規定作成について
- 日本臨床工学会 開催プレゼン
- 内部理事兼業について
- 各委員会議事録について
- 支部制について
- 新たな公益法人事業

北海道臨床工学技士会 会長賞 発表

道内の各臨床工学技士養成校の成績優秀者に贈られる北海道臨床工学技士会 会長賞が決定しました。

平成 28 年度の実賞者は次の 4 名となりました。

今後、臨床工学技士としての活躍を大いに期待しています。

吉田学園医療歯科専門学校

田中 智貴

北海道科学大学

宮寄 優馬

北海道ハイテクノロジー専門学校

佐藤 史直

札幌医学技術福祉歯科専門学校

島田 真美

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2017年2月26日(日)

「第11回卒業後教育セミナー」

会場 ムトウ本社 6階会議室

<http://hcea.umin.ac.jp/index2.html>

2017年3月7日(火)

「医療機器開発・事業化支援セミナー及び
医工連携事業化推進事業公募説明会」

会場 京王プラザホテル札幌 B1

プラザホール

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokio/20170210/index.htm>

2017年3月9日(木)～3月11日(土)

「第44回日本集中治療医学会学術集会」

会場 ロイトン札幌

さっぽろ芸文館

札幌市教育文化会館

<http://44jsicm.gakkai.me/>

2017年3月22日(水)

「平成28年度 MDIC 更新ポイント
取得セミナー」

会場 北海道経済センター8階

<http://www.jsmi.gr.jp/seminar/subject/>

2017年5月20日(土)～5月21日(日)

「第27回日本臨床工学会」

会場 リンクステーションホール青森

ホテル青森

<http://convention.jtbcom.co.jp/jace27/>

医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.121 2016年12月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

経鼻栄養チューブの誤挿入

No.121 2016年12月

経鼻栄養チューブを誤って気道に挿入していたが、気泡音の聴取のみで胃内に入ってしまったと判断し、栄養剤や内服薬を注入した事例が11件報告されています(集計期間:2013年1月1日~2016年10月31日)。この情報は、第43回報告書「個別のテーマの検討状況」(P147)で取り上げた内容を基に作成しました。

経鼻栄養チューブを挿入後、気泡音の聴取のみで胃内に入ったと判断したが、実際には気道に誤挿入されていた事例が報告されています。いずれも、誤挿入のまま栄養剤や内服薬を注入し、患者の呼吸状態に影響があった事例です。

事例1のイメージ

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.121 2016年12月

経鼻栄養チューブの誤挿入

事例1

医師は、気管切開している患者に経鼻栄養チューブを挿入後、気泡音を聴取し、チューブが胃内に入ったと判断した。その後、看護師が栄養剤の注入を開始したところ、患者は咳き込み、呼吸音を聴いた。医師は気管切開から気管支を引いたが、気管内に経鼻栄養チューブが挿入されていることが分かった。

事例2

看護師は経鼻栄養チューブを挿入後、胃内内容物を吸引できなかったが、他の看護師と2名で気泡音を聴取し、チューブが胃内に入ったと判断した。看護師は、内服薬を注入する前に、再度、他の看護師と気泡音を聴取した。内服薬を溶かした白濁を注入したところ、咳が出始めSpO₂が60%前後に低下した。胸部エックス線撮影を行い、右気管支に経鼻栄養チューブが挿入されていることが分かった。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 経鼻栄養チューブの挿入後、胃内内容物を吸引して胃内に入ったことを確認する。胃内内容物が吸引できない場合、エックス線撮影によりチューブの先端の位置を確認する。

本財団の認定病院患者安全推進協議会の「注意 経鼻栄養チューブ挿入の安全確保」(2006年3月31日掲載)では、胃内内容物を確認することを推奨しています。
<https://www.ssp-jq.jp/contents/649?wpdmid=649>

総合評価部会の意見

- 経鼻栄養チューブが胃内に挿入されていることを確認する際、気泡音の聴取のみでは信頼できる方法ではありません。
- 経鼻栄養チューブの挿入後、胃内に挿入されていることを確認する手順を決め、遵守しましょう。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本学芸の「提言として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本学芸ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を転載しおたがひを認めるものではありません。

※この情報は、医療従事者の教養を初級し、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.med-safe.jp/>

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.122 2017年1月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

透析前の体重測定の違い

No.122 2017年1月

透析前の体重測定を適切な方法で実施しなかったため、誤った体重をもとに透析を行った事例が4件報告されています(集計期間:2011年1月1日~2016年11月30日)。この情報は、第36回報告書「個別のテーマの検討状況」で取り上げた内容を基に作成しました。

適切な方法で体重を測定しなかったため、誤った体重をもとに透析を行い、過除水や除水不足となった事例が報告されています。

体重測定の結果	実際の体重との差	透析の結果	背景
実際の体重より多い	+6kg	過除水	リフト式体重計はストレッチャーシート分として「-3kg」と設定することになっていたが、「3kg」と設定した
	+0.9kg		計量部にスタッフが接触した状態で体重を測定した
実際の体重より少ない	-1.3kg	除水不足	当該患者の体重には裁定を含めることになっていたが、看護師は裁定の重さを差し引いた
	-5.6kg		体重計付ベッドは欄とベッドコントローラーを付けて測定することになっていたが、患者の移乗の際に外し、そのまま付けずに測定した

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.122 2017年1月

透析前の体重測定の違い

事例1

ICUで患者の体重を測定し、透析を行った。翌日もICUで同じ設定で体重を測定し、透析を行った。3日目、透析室で透析を行う際に体重を測定したところ、患者の体重が目標体重より減っていた。ICUに問合せがあり、ICUのリフト式体重計のハネルを確認したところ、この体重計はストレッチャーシート分の重さとして、あらかじめ「-3kg」と設定して測定することになっていたが、「3kg」と設定されていた。そのため、ICUでは6kg多い体重をもとに除水量を計算して透析を行い、過除水になっていたことが分かった。

事例2

透析の際、当該患者の体重には裁定を含めることになっていたが、看護師はこの患者の体重には裁定を含めないと考えていた。看護師は、裁定を装飾して車椅子に乗った患者の重さを測定した。その後、車椅子と裁定の重さを測定し、最初に測定した重さから差し引いた値を体重としたため、裁定分の1.3kg少ない体重となった。その体重をもとに除水量を計算して透析を行ったため除水不足となり、翌日に追加の透析が必要となった。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 透析前の体重測定の際に、体重計の設定や測定時の条件を確認する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本学芸の「提言として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本学芸ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を転載しおたがひを認めるものではありません。

※この情報は、医療従事者の教養を初級し、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.med-safe.jp/>

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



高リン血症治療剤

処方箋医薬品[※] 注)注意—医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 250mg
500mg



P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferriic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  **キッセイ薬品工業株式会社**

松本市芳野 19 番 4 8 号 <http://www.kissei.co.jp>
<資料請求先> くすり相談センター 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 8 番 9 号
TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3011JD
2016年1月作成

経験と実績から生まれたME 機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

最新・最先端の医療機器の情報をご提供します。

 SHIP HEALTHCARE GROUP



SMC 株式会社 札幌メディカルコーポレーション

本社 札幌市白石区本通3丁目北6番18号 ☎ 011-862-4061
函館営業所 ☎ 0138-83-2252 室蘭営業所 ☎ 0143-83-7720
旭川営業所 ☎ 0166-76-1065 北見営業所 ☎ 0157-57-1672

【業務内容】 1. 医療機器販売(循環器、不整脈、心臓外科、ニューロ、体外循環など)
2. 医療業務サポート(中材、SPD、医院開業) 3. その他
※詳細は、当社ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.ksmc.jp>

針刺し防止機構付き透析用留置針
Happycath NEO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- カテーテル表面の潤滑性向上



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元: 東亜メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知原字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

医療機器認証番号: 212008ZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP





NIKKISO Total System NX

安定した治療と、業務の最適化をサポートします。



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965



Innovation by Chemistry



販売名:トレスルホンNV
一般的名称:血液透析濾過器
医療機器承認番号:22700BZX00322000
医療機器区分:高度管理医療機器

東レ独自の膜表面改質技術を採用し、
多様なHDF療法に応えるヘモダイアフィルター



販売業者 東レ・メディカル株式会社
製造販売業者 東レ株式会社
<http://www.toray-medical.com/>

CARDIOSAVE & TRANS-RAY 7 Fr. IABP 患者にとって最適な治療

GETINGE GROUP

Fiber Optic Sensor IAB Catheter TRANS-RAY 7Fr.

細径化、高速化・・・患者と医療従事者のために

販売名:IAB カテーテル TRANS-RAY
医療機器承認番号:22400BZX00035000

MORE THAN A PUMP. A REVOLUTION CARDIOSAVE

血行動態サポートの新しいスタンダード

販売名:大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE
医療機器承認番号:22500BZX00029000



製造販売元
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲23F
連絡先: アク्यूトケア・セラビー事業部
TEL: 03-5463-8315 FAX: 03-5463-6856
www.maquet.com/jp

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

ABH Series

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器

ABH-P

中空糸内径と細孔径を最適化

高度管理医療機器
承認番号: 22200BZX00577000

ABH-F

中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減

高度管理医療機器
承認番号: 22000BZX00698000



旭化成メディカル株式会社

<http://www.asahikasei-medical.co.jp>

No.2012.5-7470

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されており、もしもの時の救える命のために、AEDをご検討中の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



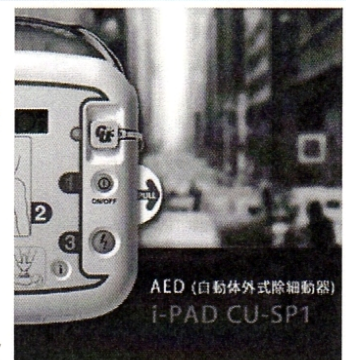
最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階

TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



AED (自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1



株式会社 ぼくやく・竹山ホールディングス
生命と健康への貢献
「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

Medical Support Service Provider

血液浄化 低侵襲機器 内視鏡
「専門領域に特化した支援・サポート」
ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。
整形外科 眼科
循環器 画像診断機器 テクニカルサポート

株式会社 竹山
代表取締役 茂野 護
本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌	中央支店 ☎011-205-8061	北支店 ☎011-205-8065	新札幌支店 ☎011-861-2223
	大森支店 ☎011-711-0123	札幌支店 ☎011-711-0124	市内営業所 ☎011-205-8062
	札幌センター ☎011-205-8063	札幌センター ☎011-826-5161	
道央・道南	富良野支店 ☎0143-481221	苫小牧支店 ☎0144-53-2101	小樽支店 ☎0134-29-4524
	旭川支店 ☎0126-25-6992	帯広支店 ☎0138-83-5000	
道東・道北	網走支店 ☎0154-25-2241	北見支店 ☎0157-31-3224	帯広支店 ☎0155-35-5800
	旭川支店 ☎0166-73-3011	室蘭支店 ☎0125-54-3465	道北支店 ☎01654-3-9955
〒	東京支店 ☎03-3814-0103	横浜営業所 ☎045-232-3310	

在宅医療の未来へ

呼吸不全に対して多角的なアプローチをご提供し、在宅を中心に呼吸療法をきめ細かくサポートいたします。

先進の医療機器で健やかな呼吸をサポート

CHEST チェスト株式会社

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 TEL. (03)3813-7200(代)
札幌 VC 〒001-0020 北海道札幌市北区北20条西3丁目 江洋ビル TEL. (011)756-8585



VIVO 50



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)
ヘパフィールド®
透析用250単位/mLシリンジ 20mL
*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

生物由来製品
指定医薬品
処方せん医薬品*

数字と目盛りが見やすい!
内容量が確認しやすい!
より使いやすくなりました。
※製品色は赤紫色から青色に変わりました。

JMS 販売元 株式会社 ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号

日本標準商品分類番号 87 3334
薬備基準収載

- 清潔操作を実現
- 薬剤汚染を防止
- 誤投薬を防止
- 調製作業を簡略化
- 充てん操作が不要
- 作業速度が向上

製造販売元 株式会社 大塚製薬工場
徳島県徳門市撫養町立岩寺赤115

文献請求先 株式会社ジェイ・エム・エス血液浄化営業部
〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号
新南大井ビル
TEL: 03-6404-0602

Liberating performance

患者の換気は複雑ですが、ベンチレータは簡便に

- 状況に応じたガイダンス
- 高い機動的デザインと壁配管を必要としないシステム
- 信頼のサーボパフォーマンス
- 高い費用対効果

FUKUDA DENSHI 〒080-0013 札幌市中央区北13条西171-35 TEL.(011)737-3171(代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月～金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00～18:00
● 医療機器専門メーカー **フクダ電子北海道販売株式会社**

NEW

汎用人工呼吸器

サーボベンチレータシステム
SERVO-air

医療機器承認番号: 22800BZX0005000
販売名: サーボベンチレータ SERVO-air
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器



北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	診療統括部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>